

# 第6学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成30年7月4日(水) 5校時 13:40~14:25 6年1組教室

2. 題材 「携帯電話・スマートフォンのよりよい使い方について考えよう」

「学級活動(2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成」

### 学級目標

38人全員で成長の階段を上り続けながら  
本当の仲間を目指し最高の1年にしよう！！

3. 題材について

#### (1) 児童の実態

新学年がスタートして3ヶ月が過ぎた。子どもたちは、初めは緊張してなかなか自分を出せずに過ごしている様子も見られたが、徐々に学級に慣れ、自分らしさを出せるようになってきた。仲間に優しく、素直な子どもたちが多く、自分の思いを自分の言葉で積極的に伝えようとする子どもは偏りがあり、クラスの課題となっている。しかし、最高学年という意識をもち、自分たちが学校の手本となれるような行動をしていきたい、また学校をよりよくしていきたいという思いをもっている様子が見られる。また、どんなときでも、クラス目標を意識してクラスのみんなで成長していきたいという思いも強くもっている。

学級活動(2)においては、運動会などの学校行事、熱中症対策のめあてを立ててきている。子どもたちは、自分が立てためあてを意識しながら生活したり、毎日の振り返りの中で達成できなかったことを翌日の課題として取り組んだりしようとしている姿が見られる。

#### (2) 題材設定の理由

インターネットや携帯電話の急激な普及に伴って、子どもたちが事件に巻き込まれる事例、携帯電話のメールやLINEによるいじめの事例をよく聞くようになった。クラスの子どもの8割近くが自分の携帯電話・スマートフォンを持っているという実態がある。新年度がスタートしてから、子どもたちからだけではなく、保護者からも携帯電話・スマートフォンの使い方に関する相談があった。現在、携帯電話・スマートフォンを持っていない子どもたちも、今後は自分の携帯電話・スマートフォンを持つことが考えられる。子どもたちの多くは、携帯電話・スマートフォンの必要性を感じていて、いつでも電話やメール、LINEで連絡を取り合うことができる便利な道具として使っている。一方で、携帯電話・スマートフォンのメールやLINEのやり取りについて、7割以上の子どもたちが不安や心配なこと、困った経験をしている。特に、自分が送ったメールの内容で相手が嫌な思いをするのではないかと心配が多かった。そこで、携帯電話・スマートフォンのメールやLINEのよりよい使い方について考える機会をもたせたいと考え、本題材を設定した。

本題材で授業をするにあたり、保護者に「子どもたちの携帯電話・スマートフォンの使用について」のアンケートを実施したところ、LINEでトラブルがあるのではないかと心配していたり、メールでの言葉の使い方に気を付けてほしいという願いなどがあつたりした。保護者へのアンケートを通して、各家庭への理解を求めるとともに、協力して実践が行えると考える。

#### 4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、自主的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。

## 5. 活動の実際

### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)	資料
6月27日 (水) 朝	携帯電話についてのアンケートに答える。	○普段の自分の携帯電話・スマートフォンの使い方について振り返り、記入できるように声かける。 ○携帯電話を持っていない児童には、これから携帯電話を使うことになった場合、どんなことに気を付ける必要があるのか考えるように声をかける。 ☆携帯電話の使い方について考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	アンケート用紙 (資料1)

### (2) 本時の活動

① ねらい 携帯電話・スマートフォンのメールやLINEは便利な一方で、自分自身や相手を守るためには注意点があることに気づき、携帯電話・スマートフォンのよりよい使い方についてのめあてを立てる。

#### ② 展開

	児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)	資料
導入	【つかむ】 1. 事前のアンケート結果から気付いたことを発表する。	○アンケート結果を確認しながら、携帯電話・スマートフォンが便利である一方で心配や不安なこともあることに気付くことができるようにする。	アンケート結果 (資料1: 児童の意識を高めるための資料)
展開	【さぐる】 2. メールへの対処の仕方と、なぜそのような対処をするのか理由も考える。 ① 友達からのLINEに返信するとき ② 知らない人からメールを受信したとき  【見付ける】 3. 携帯電話・スマートフォンでメールやLINEをするときのよりよい使い方や気を付けることについて話し合う。	○ケースの内容をイメージしやすくするために、パワーポイントでLINEのやりとりやメールの内容を見せる。  ○携帯電話・スマートフォンを持っている児童には、実際にメールやLINEのやりとりをするときのことを思い浮かべながら、どんなことに気を付けるべきなのか考えるように声をかける。 ○携帯電話・スマートフォンを持っていない児童も、これから携帯電話・スマートフォンを持ったときにどんなことに気を付けるべきなのか考えるように声をかける。	ワークシート (資料2: ねらいを焦点化するための資料)
終末	【決める】 4. これから携帯電話・スマートフォンを使うときの自分のめあてを立て、発表する。	○自分が実践できるようなめあてを具体的に書くように伝える。 ○携帯電話・スマートフォンを持っていない児童はこれから持ったときに、どんなことに気を付けたいのか考えるように声をかける。 ☆携帯電話・スマートフォンのよりよい使い方について具体的なめあてを立てている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	めあてカード (資料3: 実践への意欲づけのための資料)

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
7月5日 (木) ~ 帰りの会	自分が立てためあてについて振り返りをする。	○書いたためあてを確認し、友達と認め合いながら目標を達成できるようにする。 ☆自分の目標に向かって努力する大切さ、そのための取り組み方について理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解) ○めあてを意識して実践した場面があったか声をかけ、達成できている姿を認め励ます。 ☆自分が立てためあての達成に向けて、進んで実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

6. 板書計画

「携帯電話・スマートフォンのよりよい使い方について考えよう」  
アンケートの結果

○自分の携帯電話・スマートフォンを持っていますか。

はい 79%  
いいえ 21%

○携帯電話・スマートフォンは今のあなたにとって必要ですか。

はい 87%  
いいえ 13%

携帯電話・スマートフォンが必要な理由

すぐに連絡ができる (電話・メール・LINE) 85%  
ゲームをしたり調べたりする 15%

○メールやラインのやり取りで不安なこと、困ったことはありますか。

はい 87%  
いいえ 13%

**ケース1**

- ・何を聞いているのかわからない。  
→「何に乗って行くの?」と聞く。  
「どうして行くの?」と理由を聞く。
- ・気持ちや表情が伝わらない。  
→スタンプの活用

言葉だけでは本当のことが伝わりにくい。

↓

ごかいされない言葉を使ったほうがいい。  
自分の気持ちがきちんと伝わる言葉を選んだほうがいい。

**ケース2**

- ・「迷惑だよ」と伝える  
→もうメールを送ってほしくないから。
- ・返事をしない  
→相手が知らない人だから
- ・親に相談する  
→解決策を知りたいから

返事をする则自分の個人情報が知られてしまう。

メールやLINEを使うときに気を付けること

- ・相手にかんちがいされないような言葉でメールを送る。
- ・相手の気持ちを考えてメールを送る。
- ・相手を傷つけないような言葉を考える。
- ・メールを送るときに、内容をよく考える。

  

- ・自分の個人情報を守るために知らない人にはメールを返さない。
- ・知らない人からメールがきたときは、親に相談する。

7. 資料

(1) 児童の意識を高めるための資料 (資料1)



## 携帯電話・スマートフォンについてのアンケート

名前 ( )

1. 自分の携帯電話・スマートフォンを持っていますか。

はい                      いいえ

2. 今のあなたにとって携帯電話・スマートフォンは必要だと思いますか。

はい                      いいえ

<b>【理由】</b>
-----
-----
-----

3. 携帯電話やスマートフォンのメールや LINE のやり取りで不安なこと、心配なこと、困ったことはありますか。

はい                      いいえ

-----
-----
-----

(2) ねらいを焦点化するための資料 (資料2)

## 携帯電話・スマートフォンの使い方について考えよう

6年( )組( )番 名前( )

☆あなたはCさんのLINEの返信の内容についてどう思いますか？ Cさんはどうすればよかったのでしょうか。

### ケース①

AさんとBさん、Cさんは3人でLINEのやりとりをしていました。

A「明日、映画見に行かない？」

B「うん。行こう行こう。」

C「なんで行くの」

その後、AさんとBさんからは返事がきませんでした。

---

---

---

---

---

☆あなたならどんな対処をしますか？

### ケース②

あなたの携帯電話にこんなメールが届きました。

「携帯なくしたから新しいのにしました。新しいメールアドレス登録したら返事ちょうだいね。」

このメールには、名前が書かれていませんでした。

次の日にも、

「あれ？返事ないから、私間違っているのかな？返事がないと心配です。また連絡したいから、返事待っています。」

というメールが届きました。

また次の日にも、

「返事がないってことは、やっぱり佐藤さんじゃないのかな。もし佐藤さんじゃない人にメールが届いているなら、「迷惑だよ」って知らせてください。そしたらもう2度とメールしません。」

というメールが届きました。

---

---

---

【理由】

---

---

---

(3) 実践への意欲づけのための資料 (資料3)

## 携帯電話・スマートフォンのよりよい使い方について考えよう

6年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

1. 学習したことや話し合ったことをふまえて、自分のめあてを立てましょう。

<hr/> <hr/> <hr/>
-------------------

2. めあてを立てた理由を書きましょう。

<hr/> <hr/> <hr/>
-------------------

3. お家の人から (立てためあてや、これからの携帯電話・スマートフォンの使い方について)

<hr/> <hr/> <hr/>
-------------------

